



# クイーン倶楽部だより 6月号

2017年

第172号

ERN 有限会社エコ・ライス新潟  
 新潟県長岡市脇川新田町字前島970-100  
 TEL 0258(66)0070 FAX 0258(66)0447  
 URL <http://www.eco-rice.jp/>  
 E-mail [office@eco-rice.jp](mailto:office@eco-rice.jp)



田植え機に苗を補充。時期が限られ、なおかつ天気とも相談しなければ田植えと稲刈りは、一家総出の大仕事。

### 29年産米 田植え



## 例年通り田植完了!

早生から晩生まで、5月いっぱい続いていた田植えも終わりを迎え、エコ・ライス周りの田んぼはうっすら緑色。今のところは急激な天候の変化もなく、生育は順調です。田植えを違った視点で見ると、見附市・岩淵さんの田植えの様子をドローンで撮影。エコ・ライスのホームページで動画を紹介しています。ぜひご覧ください!



### 手づくり液剤散布機 田んぼを試運転!

液剤を効率的に田んぼに散布するために、試作されたのが、船型の散布機。草刈り機のエンジンと、簡単に手に入る材料だけでつくられています。改良点はありますが、動きは上々。来年には完成品が仕上がる予定です。



中村 信也 (なかむらのぶや)

医学博士。東京家政大学家政学部栄養学科教授として教鞭をとり、「食と医療」の医療薬膳研究の第一人者として活躍中。

ドクター "N" の

## 私にも一言言わせて

その 26

※ドクター…英語で博士の意味

## 北海道の人口分散はこれしかない!

日本では人口減少時代に入るといわれて、多くの都道府県や都市が人口減少に直面しています。反面、東京を筆頭に大都市は依然として増加中で、大都市と小都市の格差が年々開大しています。人口増加大都市は北海道の札幌、東北の仙台、九州の福岡などであり、道州制の自然成立が成りつつあるといえます。過日、北海道生まれ育ちの北海道振興団の女史理事長を講演会に招待し、北海道の地域活性化事情の最新情報入手の機会を得ました。女史いわく、道民の方々は「どうせ、北海道は東京と比べて田舎だから」の気が強く、諦観ムードに支配されているところがありました。

氏は旭川出身というのを懇親会で知り、私は長年秘めたる北海道元気づけ策を披露いたしました。名付けて「旭川エトワール作戦」です。エトワールとはフランス語で、星のことで、旭川を北海道の星として、全体を元気にする案です。

第一段階は、道庁を札幌から旭川に遷都させることです。札幌は北海道第一都市のお墨付きを得て人口集中が進み、道庁移転でも集中化は進行してゆきます。さらに函館と一体化され、北海道は南部繁栄、北部・東部は衰退の不健康体になつてゆきます。このためアホウドリの智島移住計画より強く、強制的に公的機関を北海道の臍である旭川に移住せざるを得ません。これに伴い道議会、道警、裁判所、公安、社会協議会、接待業など一蓮托生で移住せざるを得ません。

第二段階は新幹線の旭川駅のハブ化です。北海道新幹線を旭川まで延長し、そこから稚内、根室、えりもまで伸長します。これが鉄道エトワール化です。飛行機の発展で、東京都各都市は近くなりましたが、釧路から稚内まではかなりの時間がかかるという矛盾が生じています。どうしても旭川駅から東西南北に新幹線を延長せざる得ません。

この方法で寂れつつある北海道を元気づけると自負していますが、女史はどう受け取ったのでしょうか。